

新しい地方経済・生活環境創成交付金（第2世代交付金）事業実施報告

事業名	事業費	交付金充当額	事業内容	交付金対象事業の評価指数			次年度方針
川辺川賑わい創出事業	477,932	245,062	<p>本村の豊かな自然資源、特に日本一の「川辺川」を満喫できるスポットに、交流拠点施設を設置し、様々な交流イベントの実施・各種アクティビティ等の体験ができることで相良村への観光客や交流人口・関係人口の増加による新しい賑わい創出を図る。</p> <p>当事業では、相良村の魅力・情報発信の機能、地域住民の集いの場、交流イベント等が実施できる場、伝統的漁法である鮎やな場、川辺川のほとりでできるキャンプ場、川辺川でのアクティビティ、川辺川の生物を身近に観察できるイベント、川辺川の自然環境を楽しむことができる親水広場、地域住民の健康促進機能など交流の拠点となる施設を整備する。</p> <p>この事業は観光の中心を担う事業であり、これまでにない川を活用した取組・体感できる施設整備により、相良村の発信力を高め、経済や観光への好循環を生み出すことを目指す。</p>	KPI①	観光客入込客数	0人	<p>2025年度においては、拠点施設整備工事の施工前に、村内の小中学生約100名を対象とした総合的な学習の時間をつかった川の安全教室、環境学習等を行った。授業の実施は初めての試みである。その際、国、県、保護者等が参加し、川辺川を活用した授業内容とすることで川の魅力を再認識したとの声があった。授業を継続的に実施することで毎年度施設利用者を100名程度見込むことができる（KPI①）。KPI②の新規雇用者数は現在地域おこし協力隊の採用を予定している。KPI③、④については、令和6年度サテライトオフィス誘致戦略を策定し、企業とのオンライン面談等を実施している。地域産物を活用した商品開発等に取り組み意欲のある事業者と連携を図ることとしている。</p>
				KPI②	新規雇用者数	0人	
四浦地区交流拠点施設整備事業	10,450	5,225	<p>本村で地域コミュニティの衰退などが進んでいる四浦地区に、地域活性に寄与する交流拠点施設を設置し、多様な世代（高齢者、子ども、若者、障がい者等）が気軽に、誰もが生き生きと活動・交流等ができる、「ひと」×「もの」×「こと」をつなげ支え合う「地域の縁側」を目指す。</p>	KPI③	地域物産販売数	0千円	<p>2025年度においては、交流拠点施設の詳細設計、持続可能な事業実施のため民間企業参入に向けた広報活動、地域の事業候補者の聞き取りや施設で販売する商品の開発、弁当の試作支援等を行った。施設で販売する商品の開発や弁当試作には、地域住民や村の管理栄養士、料理研究家、他業種の事業者等が参画。地元の特産品を活用した多様な世代に受け入れられる開発を行った。その中で、拠点施設のキッチンのレイアウトや仕様についてご意見を伺い、キッチンにはワークショップを想定した広さを確保してほしいとの意見や、拠点施設のキッチンを販売許可が下りる仕様にしてほしいとの意見があり、二層式シンクや温度管理のできる冷凍・冷蔵庫の導入等を詳細設計に反映した。また、この取り組みを継続することで、KPI①観光客入込客数については観光客の増加が見込まれる。KPI②の新規雇用者数については、地域おこし協力隊の雇用を見込んでいる。KPI③地域物産等販売額及びKPI④新規参入企業者数については、継続した商品開発により増加が見込まれており、目標値として適切であると考えます。</p>
				KPI④	新規参入企業数	0者	

※いずれも増減数。（下線は見込み数）なお、2025年度の数値については後日公表予定